日刊 動労千葉
80.12.13
No. 606
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四三（22）七二〇七

ジェット闘争支援共闘会議 81.3闘争方針打ち出す

動労千葉を包む広範な全国の労組、支援団体の組織化を

動労千葉第四回定期大会で決定した「八一・三ジェット燃料輸送延長をかってない強固なストライキ体制をもって阻止する」闘争方針に応えて、この闘いを支援し勝利させるべく、十二月十一日十七時三〇分より動力車会館において、動労ジェット闘争支援共闘会議・代表者会議が開催された。八一年三月三里塚・ジェット決戦をめぐる情勢が急速に煮つまりつつある中で、参加した各労組・支援団体の六二名の代表者は、動労千葉の八一・三闘争に支援・連帯し、来年初頭からの闘いに全力をあげて決起することを互いに確認した。この会議には、反対同盟から、支援共闘世話人をかねる北原事務局長、鈴木幸司実行役員、長谷川婦人行動隊長が参加し、動労千葉からは、関川委員長、中野書記長、吉岡執行委員が出席した。

一・二四集会を皮切りに、二・三月行動方針決定

会議は北原事務局長の司会で進められ、支援共闘世話人の浅田光輝氏から動労ジェット闘争支援共闘会議の決意と三月行動方針が提起された。

動労千葉からは、関川委員長が闘争委員会を代表して八一・三闘争へむけた決意と訴えを行った。

「動労千葉は来年三月ジェット決戦へむけて、第四回大会を成功させ、組織の存亡をかけた闘いとしてすでに突入している。政治の反動化と労働運動の右傾化の中での八一・三闘争は、内外の密集せる反動を呼び起すであろう。三里塚を勝利するために、組織の分離・独立をした成果にかけてわれわれは闘う。三里塚に勝利するかは動労千葉の闘いのみならずみなさんの双肩にかかっている。動労千葉一三〇〇の闘う決意を受けとめ、全国に闘いの支援の輪をつくって戴きたい。」

次いで中野書記長から、燃料期限延長をめぐる情勢が報告され、それにもとづいて討論が行われ、一・二四を皮切りとする二・三月方針が次の通り決定された。

※　※　※　※　※

支援共闘の闘いに応え、八一・三へ

一九七七年十二月三里塚ジェット闘争開始以来、三里塚勝利・動労千葉支援のために、減産闘争の渦中、駅頭で、ホームで身を挺してわれわれと共に闘った支援共闘。「本部」反動分子の千葉破壊「オルグ」からの防衛闘争に決起してくれた支援共闘。労働組合を動労千葉支援を通して三里塚へ結集する役割をはたしてきた支援共闘。

われわれは、こんにちまでの支援共闘の闘いに真に応えきるものとして、そしてなによりも八一・三闘争への広範かつ重層的支援・連帯を形成するために、さらなる闘争体制強化へと前進しなければならない。

一、三里塚空港ジェット燃料貨車輸送延長阻止
　一・24総決起集会を全力あげて成功させる。
二、一・24集会への賛同団体、賛同者の組織化を通して
　81・3闘争を全国化する。
三、動労千葉支援・国鉄当局弾劾
　2・18集会を千葉市本町公園で開催する。
四、2・19以降大宣伝総行動、激励行動を行う。
五、2・28動労千葉スト支援前夜総決起集会
↓
3・1全国総動員。